

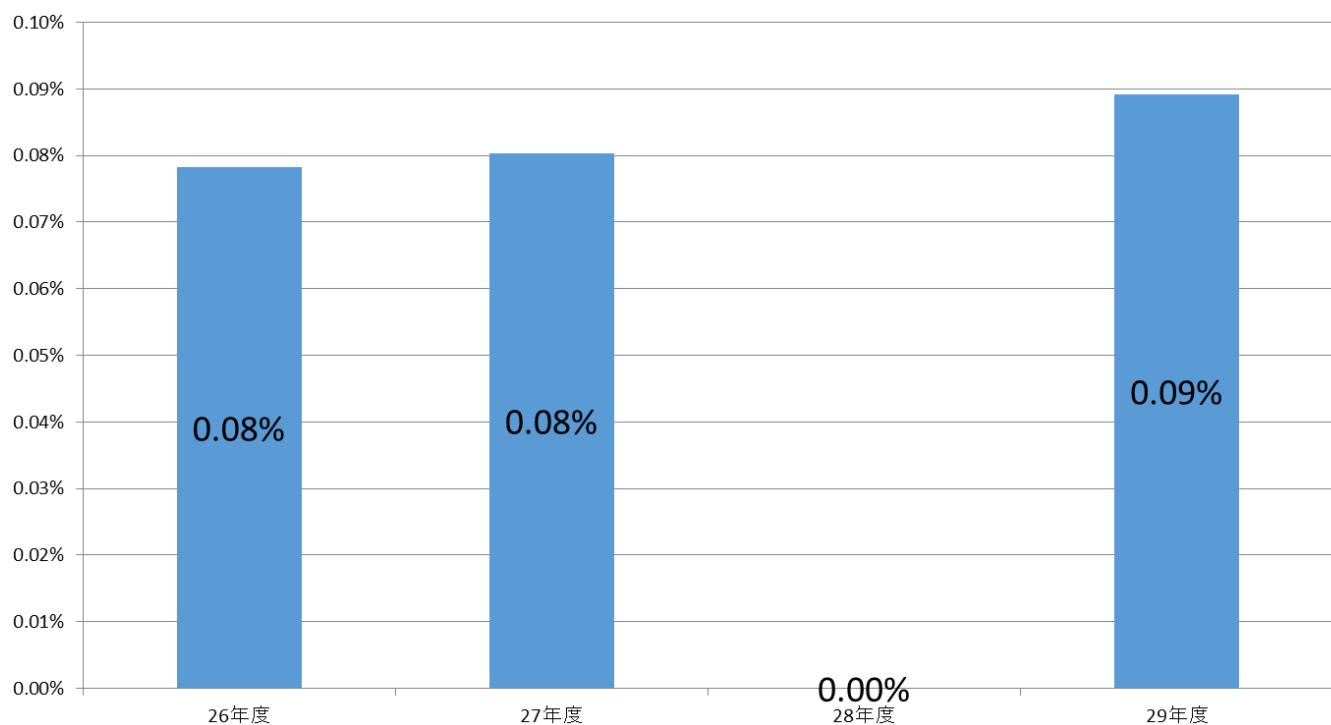
## 42 手術が施行された患者における 肺血栓塞栓症の発生率

### 指標の解説

- 周術期の肺血栓塞栓症は、重篤な場合には死に至ることがある。
- 予防への取り組みを行うことで肺血栓塞栓症の発症率が低ければ、周術期における患者管理の質が高いと言える。

分子：手術後の肺血栓塞栓症の発生数

分母：全身麻酔かつ肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した症例数



参考値：0.1%

(引用元：社会福祉法人恩賜財団済生会「平成27年度 医療・福祉の質の確保・向上等に関する指標」)